

“ゆめ農業” 先端的環境保全型農業技術講座のご案内

1 目的

世羅台地の豊かな自然を基盤として世羅町では様々な農業が営まれています。農業や生活様式の変化により多くの生き物が住み家を追われています。(株)セラアグリパークが管理運営する「せら夢公園自然観察園」は、失われつつある世羅台地で見られる多様な動植物を保全することに加え、世羅台地の自然再生の担い手を育成する役割も期待されているところです。

本講座は、私たちの暮らしに欠かせない自然と農業との調和をはかるための先端的な環境保全型農業技術を学び、農村の豊かな自然を未来へとつなぐことを目的として開催します。

2 主催 (株)セラアグリパーク

3 後援 広島県、世羅町、JA尾道市

4 期日 平成 28 年 6 月 9 日(木)～8 月 10 日(木)(全4回)

5 場所

1)せら県民公園(株)セラアグリパーク

〒722-1732 広島県世羅郡 世羅町黒淵 518-1

2)広島県立総合技術研究所農業技術センター(8月10日(水))

〒739-0151 広島県東広島市八本松町原 6869

3)世羅町内の農場

6 内容

1)日程・研修内容(裏面をご参照ください)

2)講師

愛媛大学農学部、広島県立総合技術研究所農業技術センター、広島県、世羅町、
日本自然保護協会、(株)セラアグリパーク

7 参加対象 農業者、学生、関係者等(定員 30 名)(どなたでも参加できます)

8 参加費 一般 5,000 円、学生 3,000 円

9 申込、問合せ先

・(株)セラアグリパークせら夢公園管理センター 担当:延安(のぶやす)

〒722-1732 広島県世羅郡 世羅町黒淵 411-13

電話:0847-25-4400 FAX:0847-25-4306 Email yume@mail.mcat.ne.jp

・事前申込締切 平成 28 年 6 月 2 日(木)



↑鑑賞用の花・バーベナは、害虫であるアザミウマ類の天敵ヒメハナカメムシを増やす。(講座4)

参加申込書

申込 F A X 0847-25-4306

氏名	所属	住所	TEL・メール

“ゆめ農業” 先端的環境保全型農業技術講座日程表

時	講座	内容	講師・担当
6月9日(木) 9:00	開校式		馬場 孝則(株)セラアグリパーク)
9:05	講座紹介	講座の紹介	日鷹 一雅(愛媛大学農学部) 星野 滋(県農業技術センター) 延安 勇(株)セラアグリパーク)
9:35	講座1	【講義】公的支援(直払い)を活用して環境保全型農業・生態系保全にどう取り組むか	広島県、世羅町担当者
10:15	講座2	【講義】生物多様性保全と農業・農業者の役割	福田 真由子(日本自然保護協会)
11:30～ 12:00	自然観察園見学	【見学】世羅台地の自然と農業	延安 勇(株)セラアグリパーク)
6月23日(木) 9:30～	講座3	【講義】生き物を守る田んぼの技術	星野 滋(県農業技術センター) 日鷹 一雅(愛媛大学農学部)
12:00		【見学】世羅町内での取り組み	(農)さわやか田打
7月21日(木) 9:30～	講座4	【講義】天敵を増やす畑の技術	星野 滋(県農業技術センター)
11:30		【見学】展示圃見学	
8月10日(水) 9:30～	講座5 (県技術センター公開講座)	【講義】害虫を寄せ付けない光の技術 【見学】県農業技術センター見学	石倉 聡(県農業技術センター)
11:10	閉講式		馬場 孝則(株)セラアグリパーク)



←公的支援を活用して動植物の生息環境を整えた田打地区の“ビオトープ”。耕作放棄田を整備すると、ハッチョウトンボ、サギソウといった絶滅危惧種が復活した。

絶滅危惧種の半数以上が、農地やため池、水路、山林からなる身近な農村環境に生息する動植物といわれている。秋の七草をはじめ、多くの動植物が農村から姿を消しつつある。

(講座 1, 2, 3)